**10 原　研哉『日本のデザイン―美意識がつくる未来』**

　人間の創造性を飛躍させる媒質というものがある。たとえば石器時代における「石」。

　「石器時代」という言葉が耳にんでいるせいか、石を使うことがあたかもはじめから決まっていたかのように僕らはⓐサッカクしてしまうが、直立歩行を始めた最初の人類にとって「石」は、「手」を用いることそのものをⓑカクセイさせる決定的な媒質となったはずである。石の「硬さ」や「重さ」、そして「程よい加工適性」は、直立歩行して自由になった人間の手を創造へとう  
ⓒカッコウの素材であった。硬さや重さは、ものを破壊したり切断したりする意欲を人間にもたらし、その手触りや手応えは、道具を使用するⓓジュウソク感へと人間の感覚を目覚めさせていったはずだ。（　Ａ　）、「石」が人間の手と感覚をカクセイさせ、石器時代をドライブさせたのである。

　さらに言えば、石器を作るという行為は、ただ作るのではなく、よりよく作る、より美しく作るという意識をも目覚めさせたかもしれない。石で石を打ちかいて、（　Ｂ　）石で石を磨いて、先鋭な刃が製作されたわけだが、何万年もの時代を経た今日においてすら、それは十分にその達成に満足していいバランスと完成度をたたえている。発掘された石器の数々を見ていると、そういう感慨を覚えるのである。

　紙もまた同様である。紙は今日「印刷メディア」と呼ばれることが多いが、旧メディアの古めかしさを全て紙に背負わせてしまうような言い方には違和感がある。紙は確かに文字との関わりにおいて人間の創造性を触発したはずだが、その魅力は単に印刷できる葉性に集約されるものではない。紙の触発力は、第一にはその「白さ」においてであり、さらにはその「張り」においてである。自然物の中で、白いものはさして多くはない、その中でも紙は抜きん出て白い。ベージュの樹皮をきほぐし、水中に繊維を分散させ、でい上げて天日に干すと、まぶしいほど白い物質が出現する。それは指で挟むとぴんと立つほどのえかな腰をもつ。白く、そして張りがあるということは、逆に言えば汚れやすくこわれやすい、きわめてな存在である。

　この①たおやかなる薄く白い張りの上に、人間は「墨」で黒々と文字や絵を描いたのである。それは②決して後戻りのできない不可逆性への跳躍であり、未発なるものがに成就していく瞬間を次々と自覚する手応えの連続であったはずだ。びっしりと聴衆で埋まり、静まりかえったコンサートホールで、ソロ演奏のバイオリニストが最初の一音を発する時のような緊張を、紙は常に人間にもたらしてくれるのである。失敗するかもしれないが、素晴らしいパフォーマンスが生み出されたならば、白い紙の上にはその達成が輝かしする。

　③そのような紙の触発力によって、言葉や図を記し、活字を編んでいく能動性が、人間の感覚の内にもたらされた。覚悟も、決意も、振る舞いも、所作も、永遠や刹那に対する感受性も、人間は④紙にけられてきたのだ。それは今日においてなお続いている。

語　注

枚葉＝一定の大きさに断裁した印刷用紙。

あえかな＝か弱く頼りないさま。

屹立＝堂々とそそり立つこと。

漢字　二重傍線部ⓐ〜ⓓのカタカナを漢字に直せ。

（３点×４）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　〕

問１　空欄Ａ・Ｂに入る語句として最も適当なものを次からそれぞれ選べ。（３点×２）

ア　あるいは　　イ　だから　　ウ　つまり

エ　しかし　　　オ　たとえば

Ａ〔　　　〕　Ｂ〔　　　〕

問２　傍線部①「たおやか」の意味として最も適当なものを次から選べ。（８点）

ア　言葉や動作などが、きりりとしているさま

イ　態度などが、おごそかで立派なさま

ウ　性質が、自然のままで作り飾らないさま

エ　態度や性質がしなやかで上品なさま

〔　　　〕

問３　傍線部②「決して後戻りのできない不可逆性への跳躍」が意味する内容として、最も適当なものを次から選べ。（８点）

ア　やり直しが効かないという行為を、あえて行うことで人間の感覚が育まれてきた。

イ　失敗を恐れずに、ひたすら成功を思い描くからこそ成就するものがある。

ウ　連続した事象を、離散的な瞬間の集合と捉えることで、新たな価値観が生まれた。

エ　一度限りの行為の積み重ねが、やがては人の想像力を高めていくことになった。

〔　　　〕

問４　傍線部③「そのような紙の触発力」とは、どのような力なのか。最も適当なものを次から選べ。（８点）

ア　人間の緊張を高める力。

イ　人間の創造意欲を喚起する力。

ウ　人間をあらゆるしがらみから解放する力。

エ　時空を超える印刷メディアとしての力。

〔　　　〕

問５　傍線部④「紙に躾けられてきた」という表現に使われている修辞法を漢字三字で書け。（８点）

〔　　　　　　　〕

練習問題〈口語文法②〉

次の傍線部の助動詞の意味を後から選べ。

①雨が降りそうだ。 　　　　　　（ 　　）

②明日は晴れるそうだ。 （ 　　）

③人を待たせるのはよくない。　（ 　　）

④人に待たされるのはいやだ。　（ 　　）

⑤昔のことがばれる。 （ 　　）

⑥仲良くしようと言った。 （　 　）

⑦これが友情というものだ。 （ 　　）

⑧彼に理解してもらおう。 （ 　　）

ア　使役　　イ　受身　　ウ　自発

エ　意志　　オ　伝聞　　カ　断定

キ　様態　　ク　勧誘

ケ　打消推量　　コ　不確かな断定

【解答】

漢字　ⓐ錯覚　ⓑ覚醒　ⓒ格好　ⓓ充足

問１　Ａ＝ウ　Ｂ＝ア

問２　エ

問３　ア

問４　イ

問５　擬人法

【練習問題解答】

①キ　②オ　③ア　④イ　⑤ウ　⑥ク　⑦カ　⑧エ

【50字要約例】

石の特性は人間の創造性を飛躍させ、不可逆性への跳躍を生み出す紙の華奢さも同様に創造性を触発してきた。（50字）